

新年



元気と活力あるまちづくり

議長 伊藤 功

あけましておめでとうございます。

輝ける新年を迎え、心からお慶び申し上げます。

今年は2012年、干支は「竜」です。天に向かう昇り竜のように、何事も上昇する飛躍の年にしたいものです。

昨年の3月11日に発生した東日本大震災は、地震、大津波そして福島第一原発の事故により未曾有の大災害となりました。日々多くなっていく犠牲者の数や、今なお多くの方が避難生活を余儀なくされていることに対し、心痛める日が続いています。

この地方でも「東海・東南海地震」がいつ発生してもおかしくないと言われています。当町では、自主防災会を中心に「自助（自分の命は自分で守る）」「共助（地位の人と協力して地域を守る）」の意識を高め防災対策に力を入れています。皆様のご家庭でも日ごろから防災の話をしていただき、一人ひとりがいざという時に素早い行動ができるように備えていただきたいと思います。

一方、世界ではユーロ圏での金融不安やタイでの洪水など、今後の動向が懸念されるほか、国内でも円高や雇用不安など深刻な状況が続き、少なからずこの地域にも影響を及ぼしています。

このような中、地方自治体を取り巻く環境もますます厳しくなり、財政運営や少子高齢化などへの的確な対応が求められています。

議会といたしましても、これらの状況を真摯に受け止めた上で、平成23年度から進められている「笠松町第5次総合計画」のまちづくり将来像である「“ひと・まち・自然”輝く創造文化都市」の実現に向け、全力で取り組んでいきます。

また、笠松町では「道徳のまち」の理念が定着し、ボランティアで活躍する子どもたちの姿が頼もしく、これからの成長を楽しみに感じます。特に、少子高齢化がますます進む中、お年寄りの貴重な経験や体験を子どもたちに伝えることができる機会を積極的に作っていきたいと考えています。

そして、町民の皆様の声に耳を傾け、すべての人が幸せに安心して暮らすことができ、元気と活力あふれるまちづくりを推進していくことを使命として、皆様の期待に応える決意を新たにしております。

本年も、笠松町のさらなる発展のため、限りないご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈りいたしまして、新年のごあいさつといたします。

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

平成24年 笠松町議会